



## 音楽集会 6年生

今日18日(木)は、音楽集会がありました。暑い中でしたが、6年生が音楽の時間に作った、「ボディパーカッションによるリズムアンサンブル」と合唱「ペガサス」を披露してくれ、暑さも忘れるほどの発表となりました。子供たちは、リズムアンサンブルの基になる8拍のリズム・パターンの音色、リズム、強弱などを工夫して試し、どのように重ねて音楽をつくるかについて自分の考えや友達の考えを出し合っ、音楽を形づくっているリズムが生み出す面白さを感じ取りながら、これぞ音楽!と言わんばかりに音を楽しむことを実践していました。

音楽専科の力田先生によると、基本3人グループでリズムアンサンブルをつくり、まずは体でどんな音が出せるかを考え、いろいろな音色を工夫したそうです。3つのパートのリズムを組み合わせながら、全体のまとまりを意識し、始め方や、どのようにパートを重ねるか、また終わり方を子供たちは真剣に話し合ったそうです。

今回は各学級から代表グループが、発表してくれました。子供たちは息の合った楽曲を披露してくれました。声を入れたり、体を動かしたりして、最後の決めポーズに、全校が盛り上がりました。

合唱「ペガサス」では、授業の中で曲想の違いに気付き、強弱をつけていったそうです。そして、曲想を感じ取って二部合唱を始めました。また、子供たちは大切に歌いたい部分について話し合っ、曲想にふさわしい歌い方を工夫していきました。

歌詞の中で「夢に出合えたら 命の息吹き込もう それぞれの物語 束ねて 一つの明日」という歌詞は、今の6年生にピッタリの歌詞だなあと思って聞いていると、呼吸や声の響きなどを意識して、曲想を生かして二部合唱をしてくれました。体育館中に6年生の美しい歌声が響き渡りました。

最後に音楽委員会の子供から、楽器のシルエットクイズがあり、盛り上がりました。

感想交流では、1年生の子供は「『👁️ 帯西イエロー』の心が伸びました。わけは、みんなと盛り上がって楽しめたからです。」、3年生の子供は「『👁️ 帯西ブルー』です。わけは6年生の声が体育館中に響いていいと思ったからです。」と述べ、そのお返しとして6年生の子供は「6年生の声が響いていたって聞いて、自分たちが音楽集会までに頑張ってきた成果を感じることができました。ありがとうございました。」と述べていました。

音楽には様々な表現手段がありますが、今回は体全体を使うという表現手段と6年生の「音楽は楽しむことが大切なんだ!」という一生懸命な姿で、会場全ての人の心を揺り動かし、「👁️ 帯西ブルー」の心を感じさせてくれました。また、昨年度よりレベルアップした歌声にも最高学年としての成長を感じることができました。真剣な姿というものは、本当にかっこいい!と最高学年の姿から学ばせてもらいました。

また、裏方で集会を支えてくれた音楽委員会の「シルエットクイズ」などの小さな努力と工夫が音楽集会の質を上げ、全校の子供たちが音楽に親しみ、音楽に対する感性を培ってくれたことに、感謝しています。

